

第28期中間期（2008年8月期）

決算と近況報告



株式会社 京 進

経営理念

私たちは、全従業員の物心両面の豊かさを追求するとともに、日本と世界の教育・文化の向上、社会の進歩と善良化に貢献します

経営目標

私たちは、教育企業として、地域一、日本一、そして世界一を目指します

社是

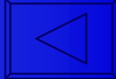
私たちは、常に創意工夫をし、絶えざる革新を心がけます

3つの原則

1. 私たちは、ひとりひとりを大切にします
2. 私たちは、高い志を持ち、仕事を通じて成長します
3. 私たちは、常に感動づくりを心がけます

教育理念

1. 私たちは、学力と人間性の向上をはかります
2. 私たちは、達成体験を通じて自信がつく指導をします
3. 私たちは、自立と貢献のできる人を育成します
4. 私たちは、国際社会で活躍できる人を育成します



2008年（H20年）8月中間期 決算のポイント

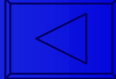
	実績	前年同期	(前年同期比)	期首予想発表数値	(予想対比)
売上高	5,656 百万円	5,901 百万円	95.9%	6,017 百万円	94.0%
営業利益	△ 225 百万円	△ 390 百万円	—	△ 310 百万円	—
経常利益	△ 252 百万円	△ 429 百万円	—	△ 343 百万円	—
中間純利益	△ 179 百万円	△ 435 百万円	—	△ 348 百万円	—

<ポイント>

- ・生徒数前期比 97.6%により、売上高は同95.9%となった。
- ・経費の圧縮等に取り組んだ結果、営業利益・経常利益は前年及び計画を上回った。
- ・以下の特別利益、特別損失を計上した結果、中間純利益も前年及び計画を上回った。

※特別利益（賞与引当金戻入益）104百万円

※特別損失（減損損失）116百万円



2008年（H20年）8月中間期 決算のポイント

部門別売上高・生徒数

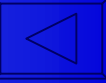
	部門別売上高実績					生徒数		
	実績		前年同期 (前年同期比)			期中平均		(前年同期比)
小 中 部	2,460	百万円	2,573	百万円	95.6%	10,060	人	98.2%
高 校 部	722	百万円	688	百万円	104.9%	2,564	人	103.2%
個 別 指 導 部	2,241	百万円	2,424	百万円	92.5%	9,808	人	95.6%
英 会 話 事 業 部	71	百万円	73	百万円	97.4%	666	人	109.5%
家 庭 教 師 事 業 部	43	百万円	47	百万円	92.1%	168	人	84.4%
Net学 習 事 業 部	26	百万円	16	百万円	155.4%	-	人	-
FC 事 業 部	90	百万円	77	百万円	116.8%	-	人	-
計	5,656	百万円	5,901	百万円	95.9%	23,266	人	97.6%

★直営新設開校...小中部4校(うち小学入試専門校1校)、高校部1校
個別指導部2校

FC事業部から個別指導部への移管3校、直営化1校

※小中部で1校(香港)を活動休止、個別指導部で1校を閉鎖

★個別指導教室「京進スクール・ワン」のフランチャイズ
4校が新設開校、1校を閉鎖し、全68校



「家庭支援事業 “笑顔の絶えない家庭を目指して”」 参入 去る平成20年10月14日、プレスリリースを行いました。

＜事業化の趣旨＞

言うまでもなく社会の最小単位は「家庭」です。その家庭が少子化、核家族化、都市化など多くの環境変化により、本来の役割を果たしにくくなっている現実があります。これらの変化は子育ての知恵の伝承を大幅に減少させ、子育ての体験を活かす機会を奪っていると考えられます。

この結果、親の子育てに対する孤立感、不安感、負担感が増大していることは、さまざまな意識調査でも明らかです。

当社では、「学力と人間性の向上」を教育理念のトップに掲げていますが、いずれの向上も家庭が「家庭本来の役割である“安息の場”であり“しつけ、生活習慣、道徳・倫理観を育む場”である」ことが土台になれば望むことは難しいと考えております。

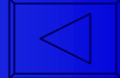
そこで、当社では「家庭」が健康であり続けることをサポートするプログラムを検討してまいりました。

プログラム開発も進み、多くの家庭が個々の課題について考え、イキイキとした家庭を築いて頂くことを趣旨として、当プログラムを事業化することにいたしました。

なお、当事業化に当たっては、複数の大学教授と提携し、相互協力の下、プログラム開発を進めました。

(大学医学部教授、社会学部教授、人文学部教授等)





リーチングについてのご報告

京進では今年、中学生を対象とした「リーチング(自立型人間育成プログラム)」の授業を開講しました。

リーチングとは、『子どもたちが社会に出たとき、自分の夢(目標)を実現(成功)して欲しい。そのためには、「将来何をしたいのか?」「どんな人間になりたいのか?」を考え、その実現に向かって、毎日を大切に過ごす習慣を体得して欲しい。』

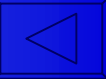
そのような願いから、「心・技・体+生活」に着目し、これらの質を高めていく技術と習慣を体得できるよう開発したプログラムです。

これまでに、今後の大きな柱であるリーチング授業を指導するための講師研修を延べ約100時間実施し、

リーチング認定講師数も約250名となりました。

10月で受講者も1,000名を突破し、成果が表れ始めています。

(※リーチング授業については、教室により実施は異なります。)



リーチングとは～リーチングのカリキュラム紹介

リーチングには教育のステップがあります。

○初めに行うことは、「こころのコップを上に向ける」態度教育です。本コースでは、挨拶・整理整頓などの基本姿勢をしっかり身につけます。さらに、生活習慣を改善する行動を考え、次の授業までの期間、実践を続けます。

○次に、こころをきれいにします。子どもたちは、家族や先生、友だちなど、多くの人に支えられて成長していきます。このことに気づくと、感謝の気持ちが生まれて謙虚になります。

○次のステップでは、「ドリームツリー」で夢を描きます。

夢は、未来への希望であると同時に、自分への期待であり、行動のエネルギーになります。

○最後に、「リーチング目標設定用紙」を使って勉強の目標を設定し、

達成のための方法を考えて実践します。

決めたことをやり切れれば、目標達成ができることを、体験から学ぶことができます。

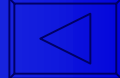
本コースでは、全期間を通じて、

決めたことをやり切る強い心を育て、

毎日、自分と向き合うために

「リーチング日誌」を書きます。





■続々と受講者の変化が報告されています

- 中2のAさんは毎日の日誌をしっかりと書いています。1学期の中間テストの際、テストをがんばることについて目標やルーティンに記載し、計画に落とし込み勉強しました。その結果、5科目で初の450点に到達し、やればできる喜びを少し体感したようです。
- OBくんは、授業後、次の週の月曜日に、自分から「記憶コンテストの勉強をしいか？」と聞きに来ました。「いきなりどうしたの？」と聞くと、「リーチングの授業をやってから、何かわからないが、すごくやる気が出てきた」とのこと。授業前は、面倒くさい、といってしぶしぶ参加した生徒ですが、たった1回の授業での心の変化に驚きました。

■保護者からも感謝の声が多く届いています

- 中2のCくんのお母様から、「今まで一切なかった家での手伝いを毎日少しずつしてくれるようになった」とのご報告を頂きました。お母様も感激しておられ、意識して「ありがとう」というストローク(励ましの声)を発するようになってきたということです。
- 中1のDさんのお母様より感謝の言葉を頂きました。「リーチングがある時は、教室に早く行きたがるようになった。日誌などを保護者も一緒にチェックしたりでき、家族の会話も増えました」とのことです。日誌や課題などで毎回成長(記述内容・発言で)を感じています。以前に比べて勉強の姿勢や明るさは大きく変化しました。



リーチングの詳細は、当社ホームページをご確認下さい。

http://www.kyoshin.co.jp/school/reaching_voice.html